

(1) 保存地区の概要

地 区 名	香取市佐原
種 別	商家町
面 積	約7.1ヘクタール
選定年月日	平成8年12月10日

概 要・特 徴

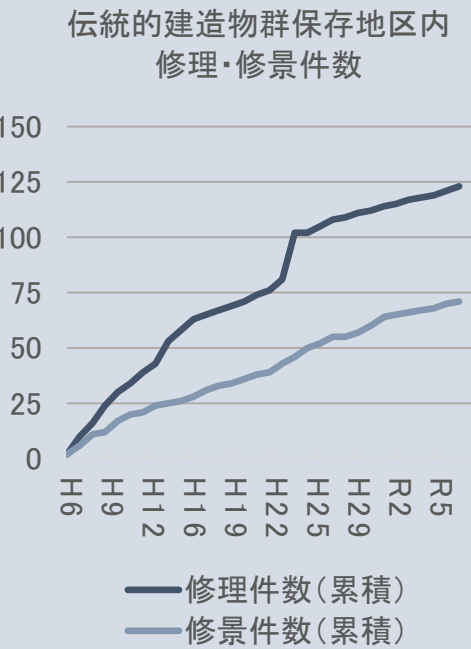
古代から香取神宮の社領としての集落が営まれていたが、近世に入り、江戸を洪水から守るために利根川の瀬替え(東遷)が行われ江戸への航路が確保されると、河港商業都市としても栄えることとなる。明治31年(1898)の鉄道開通後も活発な商業活動が続けたが、昭和に入り、モータリゼーションの到来と共に急速に商業的求心力を失っていった。しかし、新市街地が旧市街地と別に形成されたことから、旧市街地の町並みは建替えを免れた。香取神宮へ通じる香取街道沿いには、かつて江戸から仕入れた日用品などを売り捌いた商家建築が、また小野川沿いには比較的間口の大きいかつての醸造家の建物が残り、当時の繁栄を今に伝えている。また、江戸から昭和の初期まで、繁栄期が比較的長かったことから、レンガ造の銀行建築やモルタル塗り外壁の医院など洋風建築も入り混じることとも佐原の町並みの特徴と言える。

(2) 保存地区の歩み

昭和48年	「伝統的建造物群保存対策事業」町並み調査
昭和57年	観光資源保護財団による町並み調査
昭和63年	「ふるさと創生事業」のアイデア募集
平成元年	「地域づくり研究会」の発足
平成2年	「まちづくりを語り合う場」の発足
平成3年	「佐原の町並みを考える会」の発足
平成4年	「佐原市佐原地区町並み形成基本計画」を作成
平成6年	「佐原市歴史的景観条例」施行
5月	保存会が発足「佐原町並み保存会」
平成8年12月	重要伝統的建造物群保存地区の選定
平成14年3月	「防災計画策定調査報告書」作成
平成16年5月	全国伝統的建造物群保存地区協議会佐原大会開催
平成17年4月	街なみ環境整備事業開始
平成17年11月	佐原の町並み建物特別公開開催(～現在)
平成18年6月	小江戸佐原の骨董市開始(～現在・毎月第一日曜日開催)
平成19年7月	学生による空家・空店舗活用実験実施
平成21年7月	佐原町屋研究会が発足
平成21年9月	官学協働による回遊性促進検討業務に着手
平成23年3月	東日本大震災 伝統的建造物の約2/3に被害
平成26年5月	東京大学と佐原高校による「さわらぼ」が活動開始
平成28年4月	日本遺産認定「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」
平成28年12月	ユネスコ無形文化遺産登録「山・鉾・屋台行事」
平成29年2月	NIPPONIA SAWARAと「千葉県香取市の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定」を締結
平成31年3月	「さわら町屋館(上川岸小公園)」竣工
	「香取市歴史的風致維持向上計画」策定及び認定
令和2年9月	上仲町地域活性化施設完成及び市に寄贈(佐原信用金庫90周年事業)

(3) 保存地区の保存と整備

保存



修理



修景



よみがえる町並み



整備



電線類の地中化

道路の美装化



街路灯の整備

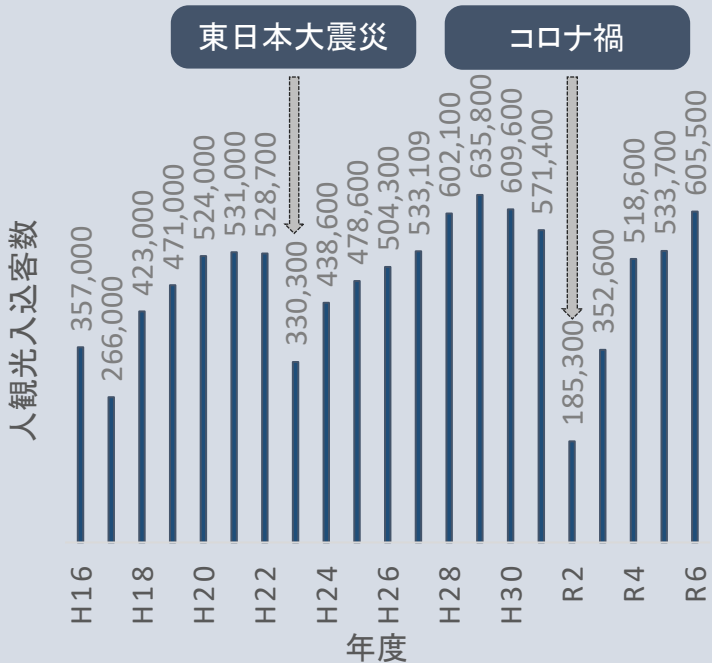


初期消火用
消火栓の整備

香取市佐原(千葉県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

観光入込客数の推移



認定・受賞等

日本遺産認定



残したい日本の 音風景百選



ユネスコ 無形文化遺産登録



都市景観大賞 「美しい町並み賞」



業態の変化

家具店



雑貨店



地域活性化施設の整備

上川岸第一施設



上仲町第一施設



上川岸小公園



新規出店の増加



(5) 住民等の取組

大学との協働

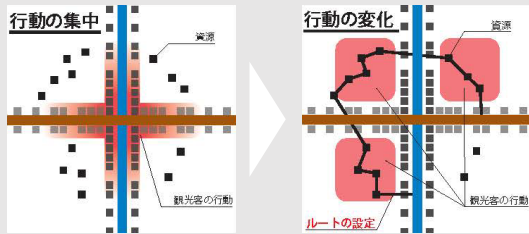
学生プロポーザルによる修景提案



実験店舗の運営



回遊性向上の研究



地域団体の活動

NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会
小野川清掃
建物特別公開



佐原町屋研究会
耐震性能の研究



NIPPONIA
による事業

宿泊施設整備



第3セクター
による事業

飲食店事業



骨董市の開催



地元高校生の活動支援



佐原おかみさん会
夕涼みイベント



飲食店事業



観光舟運事業

